

医療法人社団広恵会 春山外科病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5 TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021
<http://www.haruyama-hosp.com> e-mail : info@haruyama-hosp.com

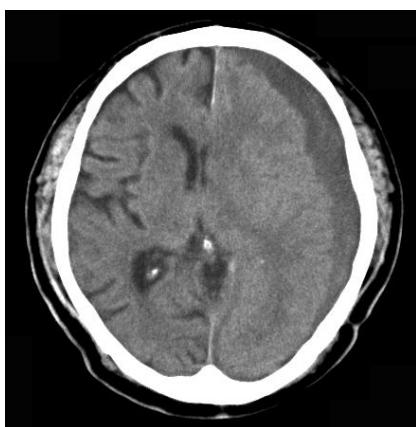
頭を打ったあと、 血がたまつてくる病気

診療部 脳神経外科
小林 聰

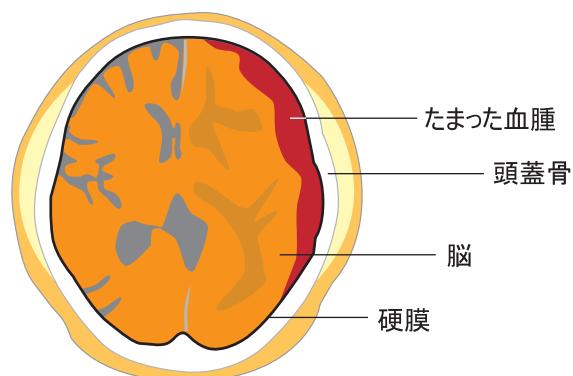
先日、「うちのおばあちゃん最近ぼけてきて……」と脳神経外科を受診され、CTスキャンを撮ったところ、慢性硬膜下血腫という病気がみつかり、手術をして良くなつた例がありました。

慢性硬膜下血腫という病気は、頭を打ったあと、2週間～3か月たつてから、頭がい骨の内側にある硬膜と脳との隙間に、血（血腫）がたまる病気です。

慢性硬膜下血腫のCTスキャン画像



イラスト説明



軽い頭部打撲が原因と言われていますが、頭を打ったかどうかわからない場合（たとえば、酔っぱらっていたとか）も多いものです。50歳以上の男性に多いのですが、大酒家や脳に萎縮のある方（頭がい骨と脳との間に隙間が多い）、血液サラサラの薬を飲んでいる方などによく起ります。

症状としては、若年者では頭痛、嘔吐などの頭蓋内圧亢進症状、片麻痺などですが、高齢者では痴呆など精神症状や、失禁、歩行できなくなつたなどです。進行の早い痴呆症状がみられたときには、慢性硬膜下血腫を疑うことが重要です。この痴呆症状は治療可能な認知症として注目されています。

治療は、手術治療ですが、局所麻酔で約3cmの皮膚切開で行い、高齢者でも十分可能です。重要なことは、正しく診断がなされ、タイミングを逸すことなく治療が行われることです。そうすれば、完治する予後のよい病気です。CTスキャン1枚で、容易に診断できますので、症状に心当たりのある方は、是非、脳神経外科受診をおすすめいたします。



平成21年4月～平成21年9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
外来患者延べ数	4,616	4,202	4,634	4,685	4,427	4,297	26,861
入院患者延べ数	1,344	1,255	1,541	1,283	1,490	1,365	8,278
搬送救急車台数	385	360	387	392	364	385	2,273
平均在院日数	12.1	14.3	14.4	10.8	12.8	13.4	12.9
手術件数	49	42	54	51	54	54	304

「新任医師の紹介」

10月から春山外科病院で消化器外科の常勤医として働くことになりました。よろしくお願い申し上げます。

まだ私が駆け出しの外科医だった昭和61年（今から23年前）に、大学の医局からこの春山外科病院に派遣されてお世話になったことがありました。なので、返り咲き就職のようなものです。

当時、大学病院しか知らなかった自分としては、医療現場の騒然とした最前線に初めて接して戸惑いや驚きを感じ、呆然とする以外になかったように記憶しています。

そんな右も左もわからなかった自分に様々なことを教えてくださいたのが、先代の理事長先生や益子副院長先生をはじめとする諸先輩と、頼りになる職員の皆さんでした。

今でも当時からの職員が数名おられて、23年前と同様に温かく迎えてくれました。

時代の流れに押されて、この病院もすいぶん変わったようです。でも活気あふれる現場はそのままで、昔のままの賑やかな毎日です。

ここでどれだけお役に立てるかわかりませんが、微力ながらできるだけ良い仕事ができるよう心がけていきたいと思います。ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



消化器科 小西宗明

新型も季節性もワクチンは供給不安定

いよいよ新型インフルエンザワクチンの予防接種が始まりました。まずは、医療機関従事者から始まり、妊婦の方や基礎疾患をお持ちの方、そして乳幼児と順じに対象者が広がっていくようです。しかし、医療従事者について早くも供給が間に合わず、十分な数量のワクチンが医療機関に届いておりません。当院も初回の供給は申請した従業員数の半分以下でした。

それと同時に従来型の季節性インフルエンザワクチンの接種が10月より開始しております。しかし、こちらの従来型のワクチンも今年は供給が間に合わず、医療機関には昨年度の実績数量に対しての7～8割程度のワクチンしか供給できないとのことです。また、確保できたワクチンも納入スケジュールが全く分らず、いつ入ってくるのか分らない状況です。

当院も薬品商社と在庫確保に全力をあげておりますが、この先の保証はできない状況です。当院では予約は受付できませんが、お電話で在庫状況はご案内は行っております。

春山外科病院の理念と基本方針

病院理念

救急医療活動を中心とし、さらに地域に密着した急性期病院として、常に患者の皆様に安心で信頼される医療を提供できるよう努力してまいります。

基本方針

1. 急性期疾患と救急医療にあたる地域の中核病院として常に医療技術の向上を図り、最善の医療を提供できるよう努力いたします。
2. 患者様の権利を尊重し、患者様との信頼関係のもとで安全で納得のできる医療を確保するため、患者様自らにさまざまな医療の現場で、診療に積極的に参加していただき、患者様とのより良きパートナーシップを構築するよう心がけてまいります。
3. 医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を行い、適切な医療サービスを提供できるように努めます。
4. 地域の医療・福祉機関等との連携を強化し、地域のニーズに適応した医療を提供致します。
5. スタッフと病院がともに発展できる、働きがいのある職場を目指します。
6. 健全な経営を維持し、その成果を医療活動を通じて地域に還元します。

患者様の権利

当院では下記の患者様の権利を守ることを宣言します。

良質な医療を公平に受ける権利

患者様はだれでも社会的な地位、疾病も種類、宗教などにより差別されることはなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利を持っています。

選択の自由の権利

患者様は担当の医師、病院等を自由に選択し、また変更する権利があります。また、いかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有しております。

情報を得る権利

患者様には、自身の病状や治療について医療上の記載されている情報を受ける権利を有しています。また、納得出来るまでわかりやすく充分な説明を受ける権利があります。

自己決定の権利

患者様は、情報と医療従事者の誠意ある助言・協力を得たうえで、自己の自由な意思に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受け、選択し、あるいは拒否する権利を有します。

プライバシーを保護される権利

患者様には、医療過程で得られた個人情報の秘密が侵されない権利があります。

尊敬を得る権利

患者様は、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利を有します。また痛みをはじめとする苦痛の除去を受ける権利があります。

医療機関の皆様へ

《検査依頼》

CT、MRI、脳波など各種検査予約は、下記時間帯にお電話にて承ります。

平日 9:00～17:00（土曜日～16:00）

《入院依頼》

9:00～17:00の診療時間内の入院依頼は診療担当医又は鈴木が対応いたします。
夜間、休祭日は当直医が対応いたします。
その他は療養支援相談室で承ります。

編集後記

政権がついに民主党にシフトしました。今後我々の生活はどうになっていくのでしょうか。子供手当なんかは子育てをしている家族にはうれしい話ですね。また高速道路の無料化なども…。

しかし問題は財源の確保ですね。数年後には消費税が10%になるのでしょうか。

地域連携室長(副院長) - 岡田和紀

鈴木(秀) 合田 高原 土屋 内山 奥村 宮城
大比良 中田